

抗体検査・予防接種を受ける方へ(予防接種は抗体検査結果が《陰性》の方)

1 風しんとは

風しんは風しんウイルスの飛沫感染によって発症します。ウイルスに感染してもすぐには症状が出ず、2～3週間の潜伏期間がみられます。発疹、発熱、頸部リンパ節の腫れを特徴とします。また、咳、鼻汁、目が赤くなる（眼球結膜の充血）などの症状がみられることがあります。子どもの場合、発疹も熱も3日程度で治ることが多いので「三日ばしか」と呼ばれることがあります。合併症として関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。血小板減少性紫斑病は風しん患者約3,000人に1人、脳炎は風しん患者約6,000人に1人ほどの割合で発症すると報告されています。大人になってからかかると、子どもの時より重症化する傾向がみられます。

2 大人が風しんにかかった場合の特徴

関節炎の頻度が小児より高いことも特徴とされています。1週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

3 先天性風しん症候群の予防のために

妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんもウイルスに感染し、先天性風しん症候群と呼ばれる病気を持って生まれてくる場合があります。先天性風しん症候群とは、生まれつきの心臓病、目がよく見えない、耳がよく聞こえないといった、心臓、目、耳などにいろいろな組み合わせで障がいを持つことがある病気です。妊娠週数が早いほど発生頻度が高く、調査によっては妊娠の最初の1か月では100%とされています。逆に、妊娠7か月（妊娠24週）以降では0%と考えられています。

妊婦さんと一緒に生活しているご家族や職場での感染が、妊婦さんへの感染原因となりがちなことから、周囲の方が予防接種を受けるなど、風しんにかからないようにしておくことが大切です。

4 麻しん風しん混合ワクチンの効果

第5期定期予防接種で使用するワクチンは麻しん風しん混合ワクチンです。麻しん風しん混合ワクチンを1回接種することによって95%以上の方が免疫を獲得します。体内に免疫ができると、麻しんや風しんにかかることを防ぐことができます。しかし、いつまで免疫が持続するかについては、獲得した免疫の状況や、その後の周りでの流行の程度によって異なります。

5 麻しん風しん混合ワクチンの副反応

麻しん風しん混合ワクチンを初めて受ける場合は、子どもでも大人でも接種後7～10日ごろに熱が出る場合があります。また、同じところに発疹が出る場合がありますが、通常数日で治ります。

麻しん風しん混合ワクチンに限ったことではなく、ワクチン全般で言われることですが、まれにアナフィラキシーという重いアレルギー反応や、血管迷走神経反射による顔色不良、気分不良、血圧低下や失神を認める方がいますので、接種後30分間は接種を受けた医療機関などで様子を観察してください。

また、ワクチン接種後にまれ（100万人に1人程度）ではありますが、血小板減少性紫斑病や脳炎が認められる場合があります。自然に風しんにかかった場合と比較すると、発症頻度は予防接種後のほうが自然感染に比べるとはるかに低い割合ですが、接種後2～3週間は副反応の出現に注意しましょう。

6 接種を受けることができない方

- (1) 接種当日、明らかに発熱のある方（37.5℃以上）
- (2) 重篤な急性疾患にかかっている方
- (3) ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーショックを起こしたことがある方
- (4) その他、医師が接種不適当な状態と判断した場合

7 接種を受けるときに注意が必要な方（接種にあたっては、接種医と相談してください）

- (1) 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている方
- (2) 予防接種後2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーを疑う症状がみられた方
- (3) 今までにけいれんを起こしたことがある方
- (4) 免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- (5) 6か月以内に輸血、ガンマグロブリンの投与を受けた方

8 接種を受けた後の注意事項

- (1) 接種後30分は、急な副反応がおこることがあるため、医師と連絡が取れるようにしましょう。
- (2) 接種した部位が痛みや熱をもって、ひどく腫れたり、全身のじんましん、繰り返す嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現れたら速やかに医師の診察を受けてください。
- (3) 接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすらないようにしましょう。
- (4) 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- (5) 接種後、他の予防接種を受ける場合は、必ず接種間隔を確認の上、受けてください。

9 その他注意すること

ワクチンを接種した人の咽頭(のど)から接種1~2週間後にワクチンウイルスが出てくる場合がありますが、周りの人にうつることはありませんので、妊婦さんの家族の方が接種を受けられても心配はありません。むしろ、妊婦さんの家族で風しんの免疫をもっていない方は、平成30年からの流行を考えると、早めに受けておくことが推奨されます。

予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。

10 予防接種健康被害救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのか因果関係を予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

風しん抗体検査及び風しん第5期定期予防接種の詳しい情報や実施医療機関は、下記のQRコードを読み取り、ご確認ください。



風しんの追加的対策の詳しい情報については、久喜市のホームページをご覧ください。

久喜市 風しん

検索



風しんの追加的対策の詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

風しんの追加的対策

検索

＊ ＊ ご不明な点がございましたら、予防接種室へお問い合わせください ＊ ＊
(午前8時30分～午後5時15分 土・日・祝日・年末年始は除く)

◆ 久喜市 地域保健課 予防接種室

〒346-0192 菖蒲町新堀 38 TEL 85-1111 FAX 85-1806